

【グループホーム職員より】

グループホームでは、職員がご入居者と食事を作り、作ったものを分かち合い、洗濯を一緒にし、トイレや洗面所を共有し、暮らしを共にする中で、生活リハビリを行っています。これまで難なく出来ていたことに戸惑うようになることで、多くの方は不安や恐怖を感じ、時には怒りがこみ上げてくるようです。それと同時に、不安な気持ちを理解してもらえ、相手を心から求めているらっしゃるように思います。

私たちは困りごとや不安を抱えている方の辛さが少しでも和らぐよう、ご家族がほっと出来るようにお手伝いをしたいと思っています。状態が悪化して手に負えないからグループホームというのではなく、困りごとが現れた時点で相談していただける気軽な場所として地域に存在出来たらと思います。

〈グループホーム〉



【ケアマネジャーより】

ケアマネジャー（介護支援専門員）は介護サービス等が必要な方々の望む暮らしの実現のため、介護サービス等の調整を含めた様々な支援をしています。

認知症かな…？という時期はご本人もご家族も共に心が揺れていると思います。病気の進行によりつらい気持ちを抱くこともあると思います。困ったことがあれば声をあげ、皆さんの悩みや思いを私達に聞かせてください。一緒に考えていきましょう。

〈小諸市介護支援専門員連絡会〉

【小諸市在宅サービス調整会議より】

私たちがいます。一人ではありません。

あなたの思い、気持ちを聞かせてください。誰かに声を掛けてくれたら、次につながります。まわりには、一緒に考えてくれる力強い仲間がいます。

あなたはあなた、変わりません。共に生きていきましょう。

.....

小諸市在宅サービス調整会議とは、

地区の民生委員・保健・医療・福祉サービス提供者が、在宅ケアに関する情報提供や学習会・事例検討を通じて、月1回顔を合わせています。

【図書館より】

市立小諸図書館では、来館者が穏やかな気持ちで過ごせる場所、ホッとできる場所、弱っている人が元気をもらえる場所、そして医療介護情報を調べることができる場所として、こころとからだのひろばというコーナーがあります。悩みごとは発信することで、解決の道が見えることもあります。図書館をそんな情報収集の場としても利用していただけたらと思います。

〈市立小諸図書館〉